



2016-17年度  
国際ロータリー会長  
ジョン F. ジャーム

# Weekly Report Niigata



2016~17 年度  
新潟ロータリークラブ会長  
宇尾野 隆



## 新潟 RC10月第 4 例会 (2016.10.25) No.3156

- (1) ロータリーソング「それでこそロータリー」斉唱
- (2) 宇尾野 隆会長挨拶

### 月見例会

本日は、お忙しい中、大変多くの会員の皆さん、そしてロータリーファミリーのご家族、新潟ローターアクトクラブの皆様にもお集まりをいただき、誠にありがとうございます。そして、このように盛大に月見例会が開催されますことを大変、光栄に思う次第でございます。心より厚く、御礼を申し上げます。本日は、ロータリーデーでありまして、午前中、定款・細則検討委員会、午後より職場見学ということで日本海エル・エヌ・ジーさんへ行ってきました。さて、先週の土曜日、日曜日の両日新潟市内の Step で 2560 地区ライラ研修が「新潟のリーダーに学ぶ」というテーマで開催され、新潟クラブがホストクラブを務めさせていただきました。県内各地より研修生 75 名、ロータリアン 35 名、実行委員 25 名、合計 135 名の方にご参加を頂きました。また、新潟 RAC から 20 名のご参加をいただき、研修への参加と運営にもご協力をいただきました。ライラ研修は、基調講演に先日卓話の講師として、お越しいただきましたブルボンウォーターポロクラブ 柏崎・ゼネラルマネージャーの青柳欽氏に「夢をかなえるため、なすべきこと」というテーマでお話をいただきました。そして、お昼からは我が新潟ロータリークラブが誇るコーディネーターとパネラー陣が登場し、パネルディスカッションを行ないました。A、B ふたつのグループに分かれてパネルディスカッションを行ったわけですが、ちなみに A グループは、コーディネーター エバーソフト社長・小林 悟さん、パネラーは、新潟大学人文学部教授・高橋秀樹さん、新潟テレビ 21UX 社長・玉 知夫さん、新潟青山法律事務所 代表弁護士・若槻 良宏さん、B グループはコーディネーター、新潟博報堂社長・山田 眞さん、イタリア軒社長・岡田 茂久さん、新潟三越伊勢丹社長・浅田龍一さん、日本銀行 新潟支店長・亀田制作さんという各界の第一線でご活躍いただいている豪華な面ぶれでありました。ディスカッション後の、個別質問コーナーでは、研修生と本当に近い距離で経験にもとづくお話を熱く語っていただいたと思います。本当に新潟 RC らしいライラ研修ができたのではないかと思います。参加者から研修生よりもロータリアンに聞かせたい、素晴らしいお話であったと好評を頂いています。もしかするとどこかのクラブからオファーがあるかもしれませんが、その時はお願い致します。皆さん大変、お疲れ様で

した。ありがとうございました。また、新潟 RAC の吉岡さん、大倉会長はじめ新潟 RAC の皆さんには、1 年前の企画の段階から当日の運営まで、ご協力をいただき厚く御礼を申し上げます。そして、昨年よりこの企画を考え、準備をしていただいた、塚田正幸実行委員長、吉田和弘地区ライラ委員長、高橋清文青少年奉仕委員長はじめ、実行委員会の皆さん、当日お手伝いいただきました岡本委員長はじめ親睦委員会の皆さんに、厚く御礼を申し上げます。お疲れ様でした。後程、塚田実行委員長からもご報告をお願いしたいと思います。そして、今日は午後より先程、お話したように恒例の職場見学ということで、八島進さんの会社であります日本海エル・エヌ・ジーへ行ってまいりました。ちょうど、液化天然ガスのタンカーが着いてまして、ガスタンクへの搬入を目の前で見ることができました。八島社長、ご協力いただきありがとうございました。そして、設営いただいた細野委員長、織戸委員長はじめとする職業奉仕委員会の皆さんお疲れ様でした。ありがとうございました。さて、本日は月見例会であります。仲秋の名月とは、例年、旧暦の 8 月だそうでありまして、今年は 9 月 15 日だったそうであります。豊作を祈っておだんごをお供えし、稲穂に似ているススキを飾って月を眺めるのが月見の趣旨のようです。そして、67 年前の 1949 年の今日、10 月 25 日は戦時中、国際ロータリーから脱退し、新潟火曜倶楽部として活動していた新潟クラブが再度、東京クラブをスポンサーとして再建発会式をこのイタリア軒で挙行した記念すべき日であります。当日の先輩達の思いを胸に、再発足の喜びを共にかみしめながら、本日は月見例会を楽しんでいただきたいと思います。以上をもちまして会長挨拶とさせていただきます。

### (3) ゲストの紹介

竹内進さん、樋熊須美子さん、細野照子さん、石本陽子さん、高橋歩さん、松本さよ子さん、鈴木亜紀子さん、塚田春江さん、濱田道子さん、新潟ローターアクト 5 名

### (4) 塚田ライラ研修実行委員長より開催報告

### (5) 各種ご寄付の発表

米山奨学会寄付発表(小林 敬直委員長)

徳永 昭輝君

青少年育成基金寄付発表(白勢 仁士委員長)

若槻 良宏君

## (6) ニコニコボックス紹介

・ライラ研修実行委員一同 10/22.23 の両日ライラ研修を皆様のご協力ですべて無事成し遂げることが出来ました。実行委員一同でニコニコ致します。

・高橋 秀樹君 ライラ研修の大成功にニコニコします。担当の皆様大変ありがとうございました。

・登坂 直美君 結婚祝いのお花をありがとうございました。おかげさまで昔話に花が咲きました。

・山田 浩之君 先日のゴルフコンペで生まれてはじめて入賞させて頂きました。柴田先生、福地さん、井原さんの良い見本と楽しくプレーさせて頂きました。有難うございました。

・玉知夫君 週末のライラ研修 地区ライラ委員長の吉田さん始め関係者の周到な準備で無事、終わりました。「新潟のリーダーに学ぶ」というリーダーシップ研修ではパネリストから普段は聞けないプライベートまで話が及びロータリアンの赤裸々な一面も知る機会となり…ニヤニヤ、いや ニコニコです。

・八島 進君 この1週間で二つの嬉しい出来事がありましたのでニコニコします。一つ目は本日、宇尾野会長はじめ新潟RCのメンバー34名の皆様に、弊社LNG基地をご視察いただきまして大変有難うございました。一人でも多くの皆様にLNGへのご理解を深めて頂きたいと思っておりましたので今回これ程沢山のメンバーの皆さんからご視察頂き大変うれしく思っております。今後とも弊社およびLNGへのご理解とご支援をお願いしますとともに、皆様のご視察に感謝しニコニコします。二つ目は先週20日に待望の初孫が誕生いたしました。2824グラムの女の子で若干小さめでしたが母子とも健康で安心いたしております。現在の心境としましては「孫が生まれて嬉しさとともに大変まごついております」今から私を何と呼ばせようかと思案中であります。家内からは「何も今から心配しなくても良いから」と冷静な言葉をかけられておりますが、「おじいちゃん」ではなくて、自分の名前であります「進」と「おじいちゃん」をもじって「スージー」とでも呼びせようかなと今から「ジジ馬鹿」を發揮しております。孫の健やかな成長を祈念しましてニコニコします。

・ライラパネルディスカッション グループBチーム

コーディネーター山田、パネリスト 浅田、岡田、亀田  
10月22日(土)に行われた「第16回RYLA」研修の「リーダーシップ研修 パネルディスカッション」に「新潟のリーダー」として、コーディネーター&パネリストとして参加させて頂きました。参加者は10代、20代が中心の研修会で将来のリーダーを目指す、やる気に満ちた若者たちと触れ合う事が出来、とても良い刺激になりました。吉田ライラ委員長、新潟RC塚田 正幸ライラ研修実行委員長をはじめ、当日運営に携わったメンバーの皆様、大変お疲れ様でした。このような貴重な機会を与えて頂いたことにニコニコします。

## 月見例会 スケジュール

16:30	親睦委員集合：受付等準備	
17:00	受付開始	
17:30	例会開始・点鐘	宇尾野会長
18:00	懇親会開会：親睦委員長挨拶	
18:00	乾杯：横山パストガバナー	
	歓談 食事	
18:15	ルーキーズバンド 第一部	40分
18:55	休憩	15分
19:10	ルーキーズバンド 第二部	40分
19:50	バンド終了	
19:55	中締め	内田幹事
19:58	手に手合唱	





## 平成 28 年度 職場訪問実施報告

職業奉仕委員長 織戸 潔

職場訪問

平成 28 年 10 月 25 日(火) 13:00～17:00

訪問先 日本海エル・エヌ・ジー株式会社

新潟県北蒲原郡聖籠町東港一丁目 1612-32

会員参加者 34名

### ①概要

1.開会挨拶 職業奉仕担当理事 細野 義彦

2.歓迎挨拶 日本海エル・エヌ・ジー株式会社

取締役社長 八島 進

### 3.スケジュール説明

日本海エル・エヌ・ジー(株) 事務局

4.基地概要説明 二班に分かれ、中央制御室視察(長谷川理事製造部長)及び、パンフレットを基に会社説明(清野調査役)

5.構内視察 基地構内をバスにて巡回。地震、津波対策や、安全・防犯対策について説明を受ける。

6.埠頭での視察 正門→新潟県港湾道路を通過し、バース入口へ。

LNG船を背景に記念撮影

各自セキュリティチェックを受けて、棧橋を渡り、LNG船の停泊している岸壁まで進行。LNG注入作業を間近で見学

### ②詳細内容

当日は小雨の降るなか、肌寒い陽気であったが、34名の多数の方に参加して頂いた。

まず、職業奉仕担当理事 細野大委員長より、開会挨拶に始まり、日本海エル・エヌ・ジー株式会社 八島社長より歓迎の挨拶を頂いた。同社事務局より、スケジュールの発表後、二班に分かれて中央制御室視察と、パンフレットを基に、会社説明があった。その後、バスによる移動で、基地構内を巡回し、建物・設備等の説明を受けながら、いよいよLNG船が停泊している岸壁へと向かった。船を背景に記念撮影後、各自セキュリティチェックを受けて、棧橋からゲートを通り、船が接岸している真下まで進むことが出来た。間近に見る大型船のスケールに圧巻。丁度、荷役作業中であり、液化天然ガスの注入作業は迫力感があった。

### ②職場訪問を終えて感じたこと

八島社長をはじめ、社員の皆さんが温かく迎えて頂いたこと、そして、質問にも丁寧に分かり易く答えて頂いたことに感謝申し上げたい。

エネルギーの供給は絶対に絶やしてはならないという使命感を持ち、24時間体制で監視体制を敷き、万全なセキュリティ・安全対策によって確り守られていること。重責を担い365日休まず、クリーンで安全なエネルギーの安定供給を行っていること。社員の皆さんによって、私たちの生活が支えられていることをあらためて実感することが出来た。

## 新潟ロータリークラブ会員による「出前授業」を実施

職業奉仕担当理事 細野 義彦

職業奉仕委員長 織戸 潔

職業奉仕プロジェクトの一環として「出前授業」を企画し、この度、新潟医療福祉大学において特別公開講座を開催しました。

この取組は、ロータリーの職業奉仕の理念に沿い、奉仕活動を通してこれから社会に出る学生に、実社会の厳しさや楽しさ、やりがい等を学んでもらい、社会勉強の一助となればとの思いから、今年度、当委員会の事業計画にて立案致しました。

当クラブ会員を学校へ講師として派遣し、専門分野を通して、経営論、人生論等について講義を行います。

第一回目が、10月26日(水)新潟医療福祉大学社会福祉学科3年生を対象に、とくなが女性クリニック(新潟市中央区長潟837-1)院長 徳永昭輝先生による講義を開催しました。テーマは「産婦人科医からのメッセージ」～医療現場から見た命の大切さとは～です。学生の皆さんは熱心に受講され、命の尊さをあらためて実感しており、大変勉強になったことと思います。

尚、11月1日(火)には、新潟青陵大学短期大学部、11月17日(木)には新潟青陵大学にて開催、株式会社塚田牛乳 塚田正幸社長、日本銀行新潟支店 亀田制作支店長がそれぞれ講義を行う予定です。

\*職場訪問、出前授業の写真をホームページにUP致しました。

(7) 10月25日例会の出席率 69.47%

会員数99名(出席免除会員 9名)

出席者66名(出席免除会員3名を含む)

(2週間前メーク後 84.78%)

11月8日の例会予定

米山奨学生 ファム ホアン アイン さんのお話

新潟ロータリークラブホームページアドレス

<http://www.niigatarc.jp/>